



EDIFACTのバージョンアップ対応

2019年10月10日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

第7次NACCSにおけるEDIFACTのバージョンアップ対応について検討を行う。

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	第7次NACCSにおけるEDIFACTのバージョンに関する検討。	
2. 現行仕様	現在EDIFACTのバージョンは、海上向けは98、航空向けは02を採用している。	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	<ul style="list-style-type: none">• NACCSにて現在採用しているバージョンが古く、拡張性に制約があるため、新たなバージョンへ移行する必要がある。• 現行EDIFACTバージョンに対応した機材のサポート期間が第6次NACCSのシステムライフを以て終了するため、第7次NACCSでは新たなバージョンに対応した機材を採用する必要がある。	
4. 次期仕様	第7次NACCSでは、自社システム（EDIFACT）利用者への影響を考慮し、全面刷新が行われた「バージョン12」の採用を前提に検討を行っていく。尚、今後さらに新たなバージョンがリリースされた場合には、改めて採用の可否を検討する。	
5. その他	本対応に伴い、第7次NACCS更改時に利用者側でのシステム改修及び接続試験が必要となる。	

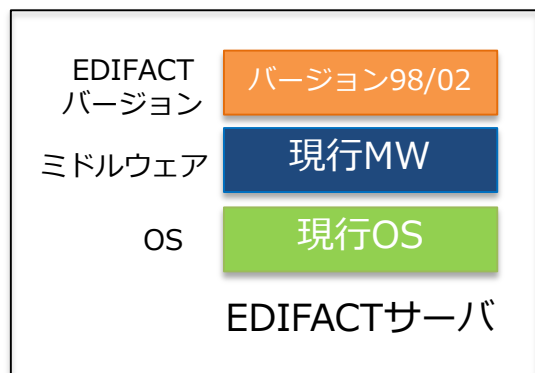
2. バージョンアップ対応案

自社システム（EDIFACT）利用者への影響を考慮し、全面刷新が行われた「バージョン12」の採用を前提に検討を行っていく。尚、今後さらに新たなバージョンがリリースされた場合には、改めて採用の可否を検討する。

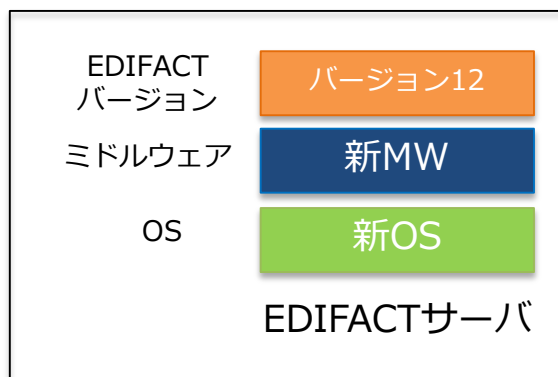
本対応に伴い、第7次NACCS更改時に利用者側でのシステム改修及び接続試験が必要となる。

バージョンアップのイメージ

現状（第6次NACCS）



第7次NACCS



- ・OSとミドルウェア、EDIFACTのバージョン全ての変更が発生。
(EDIFACT「バージョン12」前提)
- ・利用者側のシステム改修が必要。